

※ 応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和7年12月発行

広尾町コミュニティ・スクール

広尾っ子応援団だより

(No.95)



広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181

地域の協力による学習活動：豊似小・広尾中

豊似小学校の6年生が「広尾の未来を考えよう」（ひろお学）の授業で、現在、広尾町で活動している地域おこし協力隊の方（3名）から町づくりについて学びました。この学習では、子どもたちは1学期に田中町長の講話を経験しており、今回の授業を通してより一層、広尾町に対する理解が深まることだと思います。

授業では、はじめに、地域おこし協力隊の方からこの仕事を選んだ理由や自分が行っている活動の内容の説明がありました。その後、子どもたちが3つのグループに分かれ、地域おこし協力隊の方と話し合いました。子どもたちは、「仕事へのやりがい」や「広尾町の魅力」「他の町との違い」等の質問を積極的にしていました。

子どもたちは、自分たちが、これから町のために何ができるのかを考えることにつなげてくれることでしょう。



広尾中学校の3年生がひろお学で取組んできたテーマ「ふるさとを伝える～ふるさと発信」の学習の成果を発表しました。発表会は体育館で行われ、町の関係者、学習活動に協力した事業所の方々、地域や保護者の皆さんが参観しました。



発表は、8つのグループが行いました。生徒たちはパソコンを使い、発表内容をパワーポイントで分かりやすくまとめました。集いの杜への提案、サンタランドの新しいキャラクターの提案、運動する人を増やすための提案、町民交流の場づくりの提案など、それぞれが違った視点での発表でした。

各グループとも、調べた目的や理由、考えた方策を分かりやすく、堂々と発表しており、これまでの学習の成果がよく表れていました。

* 2学期は各学校の学習活動に対して、地域の協力が多くありました。感謝いたします。

頑張れ広尾っ子：応援メッセージの紹介

広尾小学校の学習発表会を見学しました。どの学年の発表からも、子どもたちがこの日のために、一生懸命練習してきた努力がとても伝わってきました。観客に向けて一人一人が精一杯、堂々と日頃の成果を表現する姿は大変立派でした。仲間と協力し一つのものを作り上げる貴重な経験は、きっと大きな自信になると思います。感動と活力をもらいました。心より感謝申し上げます。

〈町外 30代 男性 11月4日受取〉

* * * * *

秋の芸術祭芸能発表に行ってきました。大人にまじって、子供が出ていたのでメッセージを書きました。陣屋太鼓は、子供が大人のたたくのに合わせて上手にできていましたよ。サンタランドジャズスクールは、音がすごくひびいて、上手に演奏していました。たくさんの曲を発表していて、練習をがんばったのがわかりましたよ。それから、子供のアナウンスもありました。子供が出ているのがえらいです。来年もがんばってください。

〈町内 80代 女性 11月25日受取〉

*応援メッセージは、町内外、様々な年代の方から届いています。広尾っ子の励みになっています。ありがとうございます。

重点教育目標をめざして～広尾小の授業より

今回は、11月21日に行われた広尾小学校3年生の国語の授業（単元：モチモチの木）の様子を紹介します。広尾小学校では、「自ら考え、挑戦し、共に成長する子どもを育てる」ことを目標に、日々の授業が展開されています。

授業の課題は、「豆太のゆう気度を考えよう」で登場人物の行動や会話、様子を表す言葉、風景の言葉から豆太の気持ちの変化を考えました。

子どもたちは、教科書をしっかりと読み、根拠となる言葉や表現を見つけて、タブレットを使いながら、自分の考えを上手にまとめました。全体交流の場面では、自分の考えを進んで発表する姿や相手の方を見て聞く姿がありました。

